



## 》ごみ収集車(パッカー車)の火災事故防止にご協力を

カセットボンベやスプレー缶などが原因と思われるごみ収集車の火災事故が毎年数件発生しています。

缶などが圧縮されて中身のガスが漏れ出し、金属摩擦により発生した火花が引火して、ごみ収集車の中のごみが燃えたと考えられます。

このような事故を未然に防ぐために、必ず分別区分やルールを守って出してください。



過去に発生した収集車の火災

### 使い捨てライター



使い捨てライターだけを  
透明・半透明の袋に入れて



危険ごみの日に出す  
(3カ月に1回)

車両火災の原因となる、使い捨てライター・ガスの残ったカセットボンベ・スプレー缶などは、危険ごみの日に出してね!



### 中身の残ったカセットボンベ・スプレーなどの缶



中身の残ったカセットボンベ・スプレー缶  
だけを透明・半透明の袋に入れて

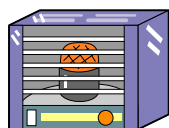


危険ごみの日に出す  
(3カ月に1回)

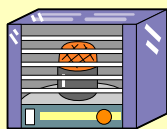


穴を開けたものは、  
金属の日にも出せませす

### 石油ストーブ



灯油、乾電池  
を抜いて



本体は  
金属の日に出す



乾電池は危険ごみの  
日に出す  
(3カ月に1回)



残った灯油の  
処分は販売店に  
ご相談ください

## 残さず食べよう! 「30・10運動」の実践を

「30・10運動」は皆さんが身近にできる食品ロスの削減方法です。ぜひ取り組んでみましょう!

- 注文の際は適量に
- 宴会開始後 **30** 分は、席を立たず食事を楽しむ
- 宴会終了前の **10** 分間は自分の席に戻って、再度食事を楽しむ



日本では、本来食べられるにも関わらず捨てられている食品ロスが年間約643万tも発生しています。食品をごみとして処理することは、環境負荷の増大につながります。

こういった状況から、食品ロス削減の総合的推進を目的とした「食品ロスの削減の推進に関する法律」が今年10月から施行されました。これにより10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」とされています。